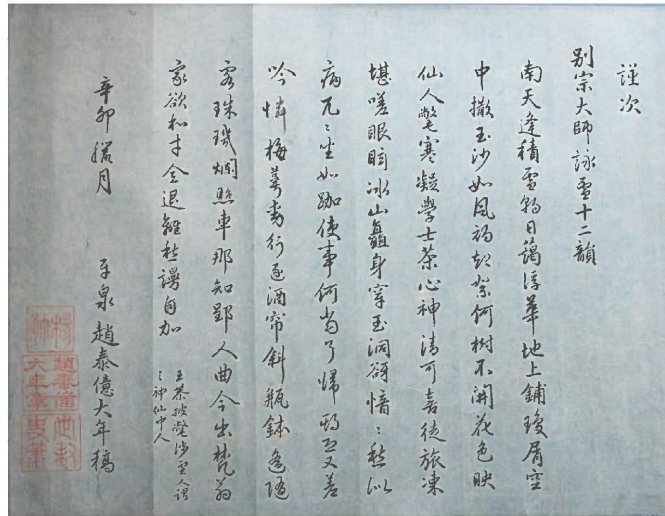


○ 日本側所蔵記録

資料番号	J. III-9	資料名	韓客詩章
------	----------	-----	------



趙泰億詩箋

紙本墨書（縦×横）巻1：35.4×1456.6，巻2：50.8×784.3784.3，巻3：40.8×1010.1，巻4：43.2×626.6

1711年に来日した第8次通信使の際、慈照院の住職・別宗祖縁(1658～1714)は接伴僧として大坂から江戸までの往復を同行した。本資料は、往復の間に祖縁が通信使の一行から贈られた漢詩等を4巻の巻物にまとめたもの。詩文唱和が大半を占めるが、一部書簡も含まれている。総数71点。詩の内容は祖縁の人柄や詩文の才能を称賛したものが多く、富士山や淀の水車等、景観を詠んだ詩も見られる。

資料番号	J. III-10	資料名	瀟湘八景図巻
------	-----------	-----	--------



紙本墨画（縦×横）30.8×534.6cm

日本の絵師・狩野清真(1614～85)が描いた瀟湘八景図に、1682年に来日した第7次通信使書記・李鵬溟が賛文を付したもの。巻末の文によれば、通信使一行が江戸に滞在中の1682年9月上旬、この画卷を得て賛をほどこしたものと推測される。当時の通信使と日本側の文化交流の一端が知られる貴重な作品である。